

留学生に対する俳句の授業

斉藤, 信浩
九州大学留学生センター

<https://doi.org/10.15017/6769091>

出版情報：基幹教育紀要. 9, pp.83-98, 2023-02-24. 九州大学基幹教育院
バージョン：

権利関係：© 2022 Faculty of Arts and Science, Kyushu University. All rights reserved. The publisher holds the copyright on all materials published in its journals except special issues, whether in print or electronic form, both as a compilation and as individual articles. All journal content is subject to "fair use" provisions of Japanese or applicable international copyright laws.



留学生に対する俳句の授業

斉藤 信浩^{1*}

¹九州大学留学生センター, 〒819-0395 福岡市西区元岡 744

Haiku class for international students

Nobuhiro SAITO^{1*}

¹International Student Center, Kyushu University, 744, Motooka, Nishi-ku, Fukuoka 819-0395, Japan

*E-mail: saito.nobuhiro.489@m.kyushu-u.ac.jp

Received Aug. 6, 2022; Revised Nov. 12, 2022; Accepted Nov. 18, 2022

Haiku is the shortest poem in the world and is one of the Japanese literary arts. A haiku lecture was given in a class called "Variations of Japanese", and 141 haiku were collected from 101 international students from 2014 to 2022. This paper analyzes the data of this haiku and explores the tendency of haiku of international students. In addition, this paper reports how did the haiku class was practiced.

1. はじめに

留学生に対する俳句は、文化体験の1つとして、俳句の催しやイベントの中で取り上げられることがある。しかし、日本語教育の枠組みの中で留学生に対して俳句を教授するという報告は、意外にも少ない(徳井厚子 1996)。日本語教育の中で取り上げられることが少ない理由として、やはり、スキル教育の1つとしての日本語の習得と、文芸作品の創り方の習得は別であるという考えがある。筆者自身も、文型や語彙の習得から積み上げていく日本語教育と、母語話者が既に持っている日本語力を使って感性を育てていく国語教育は大きく異なっていると考えている。俳句を作成することで語彙力が増えるというのは、こじつけの理由のように思われるし、文法については、俳句の字数に合わせるために複雑な変形や省略が求められるので、日本語教育としての産出の練習になるということはないと思われる。本稿が報告する「留学生に対する俳句の授業」は、日本語教育の一環ではなく、日本事情科目の中の1つとして開講されている「日本語のバリエーション」の授業の中で実践された俳句の授業について報告する。この授業では、2014年度から2022年度までの9年間、授業の中の一部として、留学生に俳句の作成を実施させてきた。101名から採取された141首のデータを分析しつつ、どのように留学生が俳句を創作したかを紹介するのが本稿の目的である。

2. 学習者の日本語能力の検証

受講者の日本語能力は、九州大学留学生センターで実施されているレベル分けのためのプレースメントテストで、中上級から上級の判定を受けた者である。このテストは、日本語能力試験(JLPT)

に準拠して作成されたテストであり、文法（60点）・読解（36点）・聴解（18点）・漢字（113点）の得点配分で構成されている。受講者総数 101 名の各項目の得点は、文法テスト平均 52.28 点（標準偏差 4.76）で得点率 87.1%、聴解テスト平均 13.14 点（標準偏差 3.99）で得点率 73.0%、読解テスト平均 26.00 点（標準偏差 6.03）で得点率 72.2%、漢字筆記テスト平均 94.87 点（標準偏差 13.44）で得点率 84.0%であり、これらの受講者の日本語能力は、全ての項目で得点率 70%を超えている学生達である。JLPT では、ほぼ N2 相当の日本語力がある。日本事情の授業を日本語で理解できるレベルであると言える。これらの受講者に対して、スライドや資料などの補助教材を多用しつつ、全て日本語で授業を進めた。

3. 授業の全体像

3.1. コースの全体構成

俳句の授業は、留学生対象の日本事情科目として開講される「日本語のバリエーション」という科目の中で実施されている。この授業の目的は、日本語教育としての日本語学習をほぼ終了しかけた留学生達が、この後、日本人学生に混じって学部の座学の授業を受講する前段階の訓練として提供されている。

表 1 コースシラバス

	授業内容	使用補助教材		
1回目	日本語のバリエーション 1 男性語と女性語	ppt	映像	練習問題
2回目	日本語のバリエーション 2 老人語と若者言葉	ppt	映像	練習問題
3回目	日本語のバリエーション 3 外人語	ppt		練習問題
4回目	日本語のバリエーション 4 職業語	ppt		
5回目	日本語のバリエーション 5 方言	ppt	映像	練習問題
6回目	日本語のバリエーション 6 表記（表記によるイメージの違い）変体仮名	ppt		練習問題
7回目	近代語の誕生（明治期の翻訳語事情）	ppt	映像	
8回目	古典語の練習 1 竹取物語1 過去形（き・けり）、動詞の活用	ppt	映像	練習問題
9回目	古典語の練習 2 竹取物語2 完了形（つ・ぬ・たり・り）、係結びの法則	ppt		練習問題
10回目	古典語の練習 3 竹取物語3 形容詞、断定（なり・たり）	ppt	映像	練習問題
11回目	正岡子規（俳句について）	ppt		
12回目	与謝野晶子（短歌と俳句の違い）	ppt	映像	
13回目	俵万智・あいだみつお・谷川俊太郎（現代詩人）	ppt	映像	
14回目	日本の国語教科書の作品を紹介する	ppt	映像	
15回目	俳句を作ろう			

「日本語のバリエーション」は、文学作品や漫画などに現れる様々な言語表現のバリエーションを紹介しつつ、古語（古文）¹⁾や詩などに繋げていくことを目的としている。1 回目から 6 回目ま

では、男性語や女性語、老人語、などの日本語のバリエーション（役割語）を紹介し²⁾、5回目の方言、6回目の表記、で次第に古語の紹介を入れていき、7回目を挟んで、8回目から10回目までの3回は古語の文型を習いつつ、竹取物語の一部を読むという作業を行う。11回目から14回目までは文芸としての俳句と短歌を紹介し、最終日にはレクリエーション的なかたちで全員で俳句を作成するというコースの構成になっている。従って、この授業は、「役割語・方言・表記」>「古語」>「詩作」という3段階で構成されている。

日本語のバリエーションとして「役割語」を紹介しても、留学生（また、日本人であっても）が実際に、男性語・女性語・老人語・外人語・職業語を話したり書いたり、産出することはない。実際の現実世界で役立つのは表記³⁾と方言⁴⁾であると思われる。加えて、教養としての古語の知識も、有用な知識であり、上級レベルの留学生であれば、若干の知識は持っていて良いと思われる。これらの古語の知識が直接的に生かされるのは、俳句や短歌であり、私達一般の日本人も日常の中で古語の文型に接するのは新聞などの俳句や川柳の投稿欄であることが多いのではないだろうか。このような観点から、中盤以降の最終的な着地点を俳句に設定した⁵⁾。

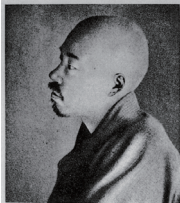
3.2. 11 回目の授業報告

俳句の大まかな背景知識を得るために、11回目に正岡子規を紹介しつつ、短歌として12回目に与謝野晶子を紹介し、13回目と14回目には日本の国語教科書に掲載されている詩を紹介して俳句や短歌や詩を学習していく。そして、15回目の最終日に俳句を作成させる。ここでは11回目の授業を抜粋して紹介していく（①～⑥で計90分）。

① 俳句の構造の紹介（10分）

なんで5・7・5？	なんで5・7・5？	なんで5・7・5？
①日本語の名詞の和語は、1拍・2拍・3拍が多い。 火、目、齒、手、木、葉、湯、毛、絵、蚊、子、血、日… 人、父、母、兄、姉、孫、雨、土、石、岩、空、星、山、丘、花、草、雲、海、川、池、沼、足、顔、腰、肩、耳、鼻、首、家、国、町、村、寺、城、風、犬、猫、鳥、馬、牛、神、服、北、西、口、上、下、中、内… 男、女、娘、魚、氷、東、南、頭、刀、車、間、話…	②形容詞・動詞は2拍・3拍が多い。 あかい、あおい、くろい、しろい、はやい、おそい、うまい、まずい、かるい、おもい、つらい、ねむい、（あかるい、かなしい、たのしい、うれしい、くるしい…） いく、くる、みる、しる、なる、いる、ある、ねる、とる、ちる、きる、きく、いう、うつ、かつ、よむ、かく… はしる、かえる、あそぶ、およぐ、たべる、ならう、こえる、まわる、あるく、まける、はなす、かりる、つくる…（おぼえる、ながれる、こわれる、あやまる、しらべる…）	③組み合わせると、5拍になりやすい。 あかいほし　　ははのかお　　いぬはしる たかいたま　　むすめのめ　　まごうたう はしるいぬ　　むらのはる　　みずをのむ はなすこえ　　いすのした　　そらをみる つめたいて　　かわのきた　　みずながる

② 正岡子規の紹介（7枚のスライドで正岡子規の生涯を紹介していく）（15分）

正岡子規 近代俳句の父　愛媛県松山市(1867ー1902年:37歳没)  短い人生で俳句・短歌の改革をなしとげた 近現代文学における短詩型文学の方向を位置づけた改革者	発句の俳句を自立させ、写実主義(Realism)的な俳句に改革をした。  発句の5・7・5だけでいい！ 季語を入れろ！ 感情は読み手に想像させろ！ とにかくシンプルに！
---	---

③ 俳句の分析（俳句を素材にディスカッション形式で答えを話していく）

素材1 柿食べば 鐘がなるなり 法隆寺 (15分)

素材2 古池や 蛙飛び込む 水の音 (15分)

柿くへば 鐘が鳴るなり 法隆寺

- Q.1 何時くらい？
 Q.2 鐘との距離はどれくらい？
 Q.3 何回くらい鐘がなった？
 Q.4 今、何人くらいいる？
 Q.5 柿はどうやって食べている？

古池や 蛙飛び込む 水の音

- Q.1 カエルは何匹？
 Q.2 どんな音がした？
 Q.3 池の色は？
 Q.4 今、何時くらい？
 Q.5 私はどこにいる？

④ 正岡子規の他の俳句を紹介（何を詠っているのか、簡単に説明をする）(5分)

松山や 秋より高き 天主閣



鶏頭の 十四五本も ありぬべし



牡丹画いて絵の具は皿にのこりけり



風呂敷を ほどけば柿の ころげけり



⑤ 季語の紹介 (5分)

6月の季語

梅雨 田植え 父の日 夏至 南風 夏山 夏
 洗濯機 扇風機 噴水 青田 六月
 あじさい ガーベラ あやめ サボテン 薔薇
 みみず ハエ かたつむり 蛍 毛虫 めだか
 ビール ソフトクリーム さくらんぼ ソーダ水
 夏野菜 冷酒 ラムネ
 半ズボン ハンカチ 夏服 白服
 パセリ 昼寝 田畑

12月の季語

冬 雪 氷 こがらし 霜
 コート マフラー セーター 手袋
 熱燗 湯豆腐 みかん 蕎麦
 ボーナス クリスマス 大晦日
 冬紅葉 落ち葉 冬至 寒雲
 くしゃみ 咳 マスク

⑥ 俳句の練習（15回目で俳句を作成する前に、一度、簡単にここで練習をしておく）(25分)

以上の手順が11回目の授業の中身である。最後の15回目の授業では、90分を使って、俳句を作成していく。俳句の回は、レクリエーション的な意味もあり、教師による授業コントロールを極力減らして、紙とペンを渡して、自由に俳句の作成をさせた。学生たちは、いくつかの俳句を作成し

て、よくできたものを全体へ発表する。

4. 俳句のデータ分析

2014 年度から 2022 年度までの 9 年間で実施され、収集された俳句のデータ量は、101 名から採取された 141 首である。受講者の作成した俳句のコピーライトの許諾は得ている。

4.1. 五・七・五の調整

俳句の五・七・五、所謂、七五調であるが、これは日本語の構造上の必然的な帰結であるとも言え（川本皓嗣 1991、坂野信彦 1996）、また、日本語の基本リズムは 2 拍が単位になっている（坂野信彦 1996）。しかし、非母語話者である留学生にその語感はない。そのため、3.2 節①では、日本語の基本語彙として、まず、名詞の和語を考えると、1 拍語、2 拍語が多く、組み合わせると、自然に 5 拍になっていく、という説明を与え、次に、用言の形容詞は 4 拍語も若干は存在しているが、3 拍語がほとんどである。また、形容詞の 4 拍語は、「たのしい>たのし」「さみしい>さみし」などのように 3 拍に収斂する方法もある。動詞もほとんどが 2 拍と 3 拍であるため、組み合わせても 5 拍に収まりやすいという説明を与えている。それでは、留学生の産出した俳句の拍数はどのようなになっているか、以下の数値を参照されたい。

表 2 上五・中七・下五の拍数

	総数	字通り		字余り		字足らず	
		産出数	比率	産出数	比率	産出数	比率
上五	143	132	93.62%	9	6.38%	2	1.42%
中七	143	123	87.24%	19	13.48%	1	0.71%
下五	143	126	89.36%	14	9.93%	3	2.13%

上五は、143 の首数のうち 11 首が字余り・字足らずになっているが、93.62%が 5 拍で作られている。中七は、143 首数のうち 20 首が字余り・字足らずになっているが、87.24%が 7 拍で作られている。下五は、143 の首数のうち 17 首が字余り・字足らずになっているが、89.36%が 5 拍で作られている。この結果を見ると、留学生でも、五・七・五に抑え込むように作成することは十分可能であり、また、大元の観点から見ると、日本語自体がそもそも七五調のようになるものなのだと見ることもできる。字足らずが数件あるが、見る限りにおいて、やや遊ばれた感がある。

2017 年度・韓国・女 クリスマス 雪降るのかな お願い～ （5・7・4）

2019 年度・タイ・女 水無月 我ぞ忘れる 身無月 （4・7・4）

字余りは、一定数があり、分析の対象になりうる（但し、それでも比率としては 6～13%であり、かなり少ないことは断りを入れておきたい）。字余りを見ていくと、助詞や文末の省略などで調整可能なものが多い。

2016 年度・中国・女 チューリップ やさしい風に そっと揺れる （5・7・6）

2016 年度・韓国・女 農夫婦 稲らとともに 曲がっている (5・7・6)

2015 年度・フランス・男 地下鉄に 入りて爆睡の 新入者 (5・8・5)

「そっと揺れ」「曲がってる」のようにすれば、5 拍に収まる。「入りて爆睡の」を「入り爆睡の」のようにテ形を連用中止形にするか、「入りて爆睡」のように「の」を省略するかをすれば、7 拍に収まる。拍数を揃えることが俳句の絶対条件ではないが、このように、十分操作可能な方法で拍数内に収めることができる。以下の俳句を、五・七・五に収めるなら「熱風の 溶けた魂(こころ) と かき氷」のような調整がありうると思われ、やはり、俳句に慣れていけば、留学生でも十分に可能な操作であると思われる。

2020 年度・中国・女 熱風の中 溶けた魂と かき氷 (7・8・5)

4.2. 文型や語彙の正確さ

2 章で示したように、留学生の日本語能力は中上級レベル以上であり、基本的な日本語文法の能力は超えている。文型や語彙自体に理解不能なものは、ほとんど見られなかった。以下の 5 例が、日本語として正確ではない表現であったが、「かきこおり>かきごおり」「かく>かぐ」などは単なる濁点の入れ忘れのレベルの誤用であり、「埃まみれ本>埃まみれの本」、「溶けず日知らず>溶ける日知らず」、「しだれ鬱」も表現なのか誤用なのか判別が難しい。結果的に見て、ほぼ全ての作成された俳句が、正確な日本語で出来ていた。基本的に、各句は「単語+助詞」で構成されているため、正確な句を作り出すのは、実は留学生にとって困難なものではない。語彙の選択さえできて、前節のような字余りの調整さえできれば、俳句の各句の作成は、非母語話者の留学生にとっても、特に困難なものではないと思われる。

2014 年度・韓国・女 かきこおり おいしいこおり メロン味 (5・7・5)

2015 年度・中国・女 コーヒーの まめをかくだけ 幸せだ (5・7・5)

2015 年度・グルジア・女 暗い部屋 埃まみれ本 松の花 (5・8・5)

2015 年度・オランダ・男 雪ふりや 溶けず日知らず 時間知らず (5・7・5)

2014 年度・ドイツ・男 ふじのはな なみだのような しだれ鬱 (5・7・5)

4.3. 古語の使用

古語の学習をした成果は、俳句の作品にはあまり反映されなかったが、ごく一部の作品にのみ形跡が見られ、否定の「ず」「ぬ」などや、「けり」「ぞ」などが見られた。

2017 年度・韓国・女 雪の中 春の情けも なかりけり (5・7・5)

2015 年度・中国・女 博多春 故郷で見えぬ 花も飽く (5・7・5)

2015 年度・オランダ・男 雪ふりや 溶けず日知らず 時間知らず (5・7・5)

2019 年度・タイ・女 水無月 我ぞ忘れる 身無月 (4・7・4)

4.4. 季語の使用

季語については、ほぼ全ての作品で使用されているが、季語の重複が多かった。しかし、これは日本人が俳句を作っても季語の重複を犯してしまうため、この段階の留学生に求めるべきではない。

「季節」の話題を自由闊達に作成するということで良いのではないかとと思われる。

5. 質的観察

5.1. 作成方法についての指導 1

夏井いつき（2018）では、俳句の作成方法として、「一物仕立て」と「取り合わせ」の2つの作成法が挙げられている。「一物仕立て」は、1つの句を詠むときにトピックが1つの作り方をいう。つまり、季語に対して、1つの内容で構成されることになる⁶⁾。「取り合わせ」は、1つの季語以外に、その季語と関連のないフレーズを入れて詠むもので題材が2つになる作り方をいう⁷⁾。専門家ならではの非常に妥当な説明であり、これ自体に異論は全くない。しかし、非母語話者の留学生が創作するとなると、なかなかこの方法でスタートするのは難しい。何を季語とするのかを決め、季語の重複を削除することは非母語話者にとっては季節の知識や感覚が異なるため、その理解から始めるには時間がかかりすぎるし、日本人の季節感を理解することは俳句教育の重要な部分ではない。俳句の重要な部分は短い詩形に最小限の言葉を込めて、読者に想いを伝えることにある。そのため、1つの作成方法として、以下のように指導をした。

場面をまず考える	次に動きや変化を入れる	まとめる	
古池や	蛙飛び込む	水の音	
クリスマス	今年も私	一人ぼっち	(2017 年度・韓国・女)
山の寺	心広げる	青い空	(2018 年度・ドイツ・男)
図書館で	頭を上げる	二重虹	(2019 年度・中国・女)
夏の宵	笑顔を集め	ビールかな	(2020 年度・中国・女)

必ずしも全員がこの方式で作成した訳ではないが、多くの留学生がこの形式で作成をしており、どう判断するかカウントが難しいが、上五の句が明らかに場面（山の寺、図書館で etc.）か時期（クリスマス、夏の宵 etc.）で書かれたものは、55/101 首であった。この形式ではない作品の例としては以下のような例があるが、これらも非常に良くできており、必ずしも、場面から考えさせるという、1つの書き方を強く推すべきではないと思われる。五・七・五の俳句のリズムの中に、自分の持っている日本語を入れて、自分の想いを伝えることが重要だと思われる。

2016 年度・中国・女	ぽかぽかと 服も濡れずに 春の雨
2016 年度・韓国・男	いらっしゃい 今年も頼む 燕の巣
2018 年度・フランス・男	色づいた 華の着物が 天を覆う
2019 年度・未記入	手をつなぎ 再会を祈る 初花火

5.2. 作成方法についての指導 2

三浦和尚（2011）では、俳句創作の中で「感動」という切り口の問題を挙げて、批判している。

筆者もこの点について同意する。「感動したことを俳句にする」となると、トピックが限られるし、寧ろ、自由闊達な発想での創作を阻害してしまうと思われる。必然的に、至近に経験したイベントや留学期間中に印象に残った事象がトピックとして出てくるが、これが感動という枠に入れて出て来たものかというところではない。もっと自然な「書きたい」と思ったことを表現していると思われる。同じイベントを経験していても、人によって見方が違う句が生まれるのが俳句の面白みであり、特に、様々な異なった文化背景を持つ留学生同士の俳句を比べるのは興味深い。

2014 年度・韓国・女 幸せな 笑顔あふれる 藤の下

2014 年度・ドイツ・男 ふじのはな なみだのような しだれ鬱

藤の花を見に行き、ある人は綺麗で楽しいと思い、ある人は涙のようで鬱々としていていると感じているのが面白い。以下は、日本で経験したことを独特の感性で表現しており、留学生俳句の面白さが表れている。季語がなくても、五・七・五の中で自分の書きたいことを上手く描いている。

2014 年度・韓国・女 こそこそと ささやかないでね ぶんぶん蚊

2015 年度・フランス・男 ふわふわな 余韻を残す 初馬刺し

2016 年度・フランス・女 口の中 カリカリとなり 唐揚げだ

また、教師の知らない留学生の日常を俳句を通じて知ることになるという面白さもある。

2015 年度・未記入 時間には 我が勝てないと 気づく朝

2017 年度・ベトナム・女 映画鑑賞 ふと寒気立つ 明日バイト

2017 年度・台湾・女 贅沢の 暖房つけて 電気代

2017 年度・中国・女 乾かした みかんの皮を 茶に入れる

留学が終わってしまうのを惜しんで詠まれた句も多くあり、この時期の留学生の気持ちがよく表れている。

2019 年度・豪州・女 会いたいと 九千キロでも 伝える手紙

2019 年度・中国・女 試験終わり 花火見に行く さびしさ

2019 年度・中国・女 夏草や 離れたくない 伊都の道

このように見ていくと、何を書きたいかは、本人に考えさせ、必要以上の誘導はしないようにしたほうが良いと思われる⁸⁾。

5.3. 俳句についてのディスカッション

前述の 3.2.の③で言及した、ディスカッションについて報告する。素材 1 は「柿食えば 鐘がなるなり 法隆寺」の俳句について、素材 2 は「古池や 蛙飛び込む 水の音」の俳句について、各 15 分程度で学生から様々な感想を出してもらう。每期、様々な答えが出てくるが、教師からは「答えはない。感じて、想像することが大切。」ということで、自由な発話を出させるように進行させている。とにかく、多くの意見が出てくるように誘導し、全体でイメージの擦り合わせを行う。

2022 年度のディスカッションは以下の表 3 のような意見が出た。素材 1 では、人数と鐘の回数にばらつきが出たが、時間帯は概ね夕方から夜で一致した。韓国（女）の留学生の「夕方 4 時くらいに寺から遠いところを 1 人で柿を手掴みで食べながら歩いていると 1 回、鐘の音が聞こえた」というのが、日本人のイメージに近いように思われ、タイ（男）の留学生の「午後 6 時に、18 回鐘がな

り、1人で寺の中で鐘に向き合って柿を手掴みで食べている」というのは、かなりこの俳句の一般的なイメージとは異なっていると思われる。

表3 俳句についてのディスカッション

<u>Q.1 何時くらい？</u> タイ・男 : 午後6時 中国・男 : 夜（お坊さんの帰宅時間） フランス・女 : 午後4時 韓国・女 : 夕方4－5時（日没） <u>Q.2 鐘との距離はどれくらい？</u> タイ・男 : 寺の中で、鐘に向かって座っている。 中国・男 : 寺の外、寺の中には柿はないから。 フランス・女 : 寺の外（音が広がっている） 韓国・女 : 寺の外、結構、距離がある（聞こえないかもしれないくらいの距離） <u>Q.3 何回くらい鐘が鳴った？</u> タイ・男 : 18回（午後6時だと思ったから） 中国・男 : 3回（お坊さんの帰るとき） フランス・女 : 7－8回（運のいい数字） 韓国・女 : 1回 <u>Q.4 今、何人くらいいる？</u> タイ・男 : 1人（休憩中） 中国・男 : 2人（詩人と鐘を鳴らす人） フランス・女 : 4人くらい（寺のいろいろな人） 韓国・女 : 1人（外だから） <u>Q.5 柿はどうやって食べている？</u> タイ・男 : 手で噛む。 中国・男 : みんなと一緒に食べる。 フランス・女 : 1人で、たくさんある柿のうちの1つを食べる。あとでもっと食べる。 韓国・女 : 手で食べながら、自然が周りにある。	<u>Q.1 かえるは何匹？</u> タイ・男 : 群れ 中国・男 : 1匹 フランス・女 : 音だけで何匹かわからない。 韓国・女 : いっぱいいる（10匹以上） <u>Q.2 どんな音がした？</u> タイ・男 : 大雨が降っている音のような。 中国・男 : 水が跳ね上がる音 フランス・女 : うるさいけど、安心できる、いい音。 韓国・女 : ただ、うるさい。いい音かもしれないけど、うるさい。 <u>Q.3 池の色は？</u> タイ・男 : 泥色。飛び込んだから。 中国・男 : 緑。藻類。 フランス・女 : スイレン。水の色は見えない。花だけ見える。 韓国・女 : 苔で緑だけど、黒い。黒みどり。 <u>Q.4 今、何時くらい？</u> タイ・男 : 1－5時くらい午後（雨） 中国・男 : 朝6時、暑くないから、蛙もそんなに水に入らない フランス・女 : 早い。午前4時（霧のイメージ） 秋 韓国・女 : 夏の夜、9－10時 <u>Q.5 私はどこにいる？</u> タイ・男 : 古寺か神社の池 中国・男 : 近くの石橋の上 フランス・女 : 家の中（近くに池） 韓国・女 : 池の隣
--	---

こういうディスカッションからも、日本人との文化的な距離を感じることができる。また、素材2では、池の色などは出身国の気候帯によって随分イメージが異なってくるし、時間帯などのもつと個々人で多様な意見が出てくる。文化的な距離のみではなく、個人の経験によっても様々な解釈

が生まれる。その結果、留学生は、日本人との感じ方の違いを知るとともに、俳句は、色々なイメージで感じて読み取っても良いのだということも理解できた。俳句の読み手側に自由度があることが理解できたことによって、留学生たちは作成への心的なハードルが下がったように思われる。本来、俳句なり、詩というものは解答があるものではなく、鑑賞するものである。このように様々な背景を持つ留学生に、鑑賞させ、感想を言い合わせるのに、俳句の短さは非常に便利だと思う。

6. まとめ

以上、本稿は、留学生に俳句を作成させるという9年間の試みを報告した。毎年15回の授業構成の中で、実際に、俳句を扱うのは、11回目と15回目の2回のみであるので⁹⁾、他の授業でも部分的に取り入れることは可能だと思われる。学生が集中していたのは、文字数を揃えるという行為であり、寧ろ、その行為に面白味を感じながら作業をしていたように思う。季語を与えて、何かを書けと言えば、一定の日本語力をクリアした留学生ならば、俳句を作成すること自体はそれほど困難な作業ではない¹⁰⁾。字数の調整の仕方や季語の重複を避けることなど、細部の指導を続けることができれば、留学生でも十分に俳句を作成できるようになる。日本語の文芸の1つとして、五・七・五の17文字で表される詩形があることは、留学生教育にとって幸いなことなのかもしれない。なぜなら、非母語話者がその学習対象言語、例えば、英語やドイツ語で、何らかの文芸を産出するのは、かなり困難なのではないだろうか。短編小説を書かせたり、一定の詩を書かせるのは、相当の文才がなければ難しい上に、労力も大きい。一方、俳句は、季語を入れて五・七・五の文字数に調整すれば、誰でも日本の正式な文芸に参画できるのである。

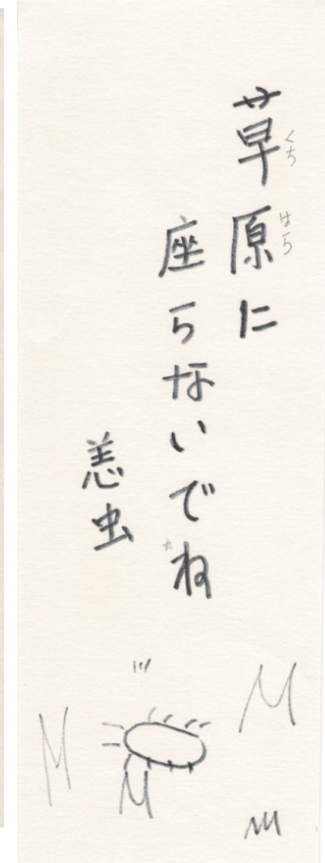
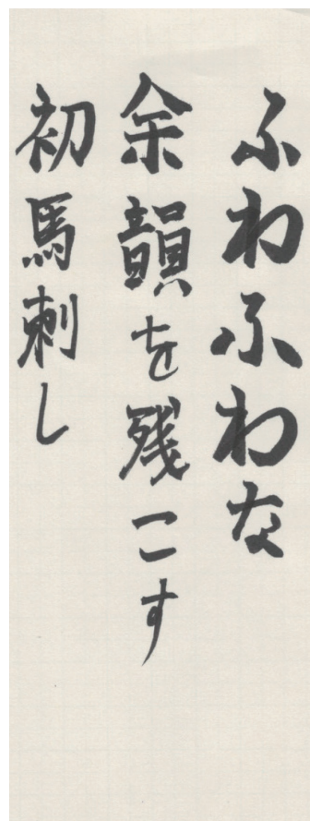
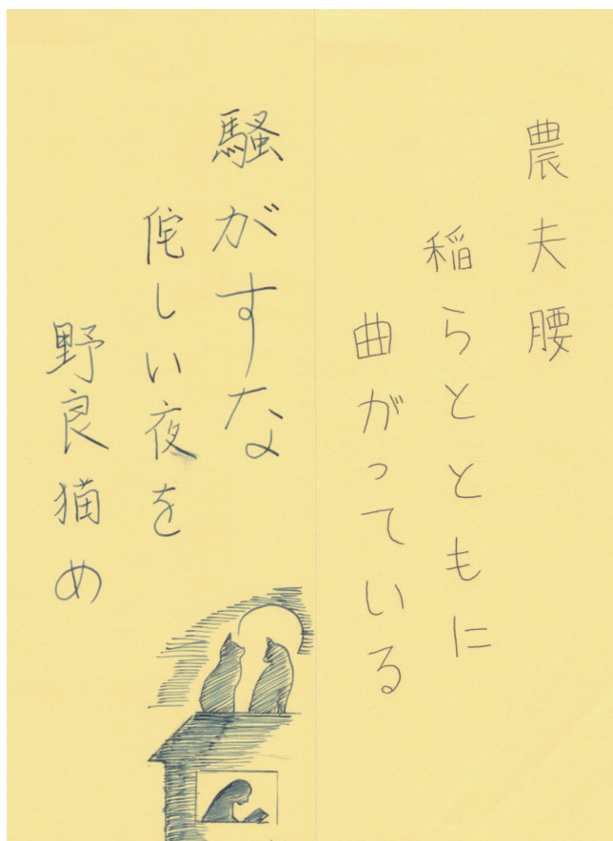
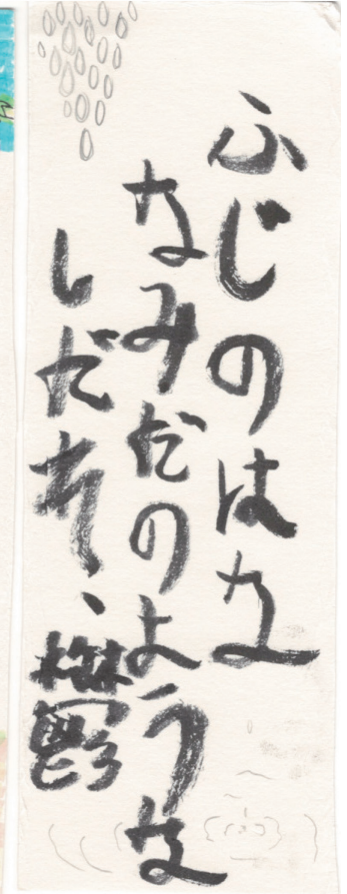
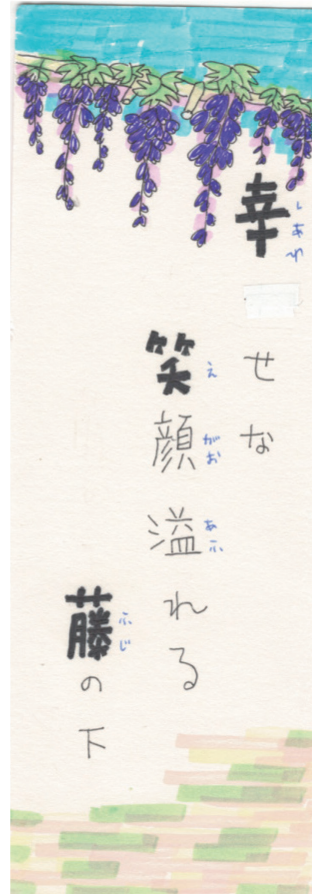
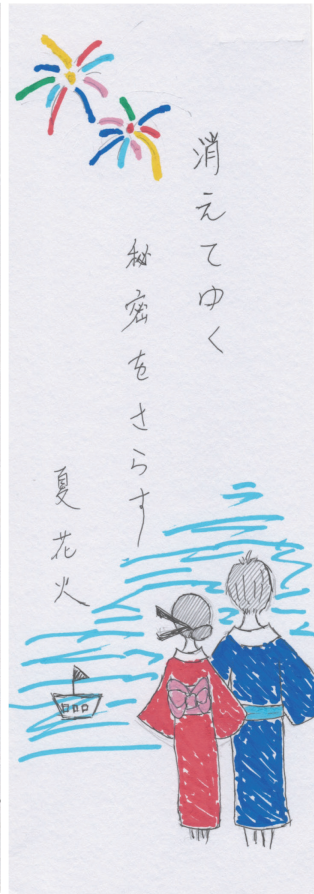
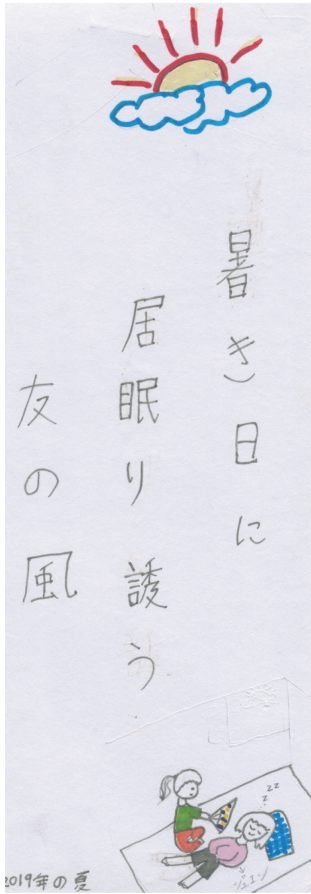
註

- 1) 古文という呼称が一般的であるが、留学生対象に日本語のバリエーションの一部として古い時代の言葉を教えていくため、現代語・古語、という呼称を用いることにした。
- 2) 「役割語」とは、文学作品などの中で、老人を表現したり、女性を表現したり、中国人を表現したりするために作られた架空（あるいは強調された）の言語表現であり、漫画やアニメなどで多用される。役割語については、金水敏（2003）に詳しい。
- 3) 表記の授業では、同一の語彙を平仮名・片仮名・ローマ字・漢字で表記することの意味を紹介し（ワイン・wine・葡萄酒・わいん）、旧字体と新字体の紹介（檜：桧、國學：国学）、変体仮名の紹介をする。これらの表記の違いは現実の日本社会で様々な効果を持って使い分けられている。
- 4) 方言の授業では、日本全国のいくつかの方言を紹介し、様々な方言があることを [you tube](#) 動画で聞かせる。そして、九州大学のある福岡県の方言として、博多弁と北九州弁について、文型や語彙を紹介し、標準語に訳させるなどの作業を行う。
- 5) このように授業の流れの中で俳句を入れた意義の説明を入れているが、やや無理に意義を繋げた。実際には、最後のレクリエーション的な作業として俳句の回を入れている。学生達には、リラックスして、自由に創作ができるように、カラーマーカーを与えて、絵を描かせたり、クラスメート同士で話したりしながら俳句を作成させている。

- 6) 例えば、与謝蕪村の「春の海 ひねもす のたりのたりかな」は、春の海が終日、のたりのたりとしている様子を詠った句で、「春の海」という1つのトピックだけを詠った典型的な一物仕立ての句である。
- 7) 例えば、松尾芭蕉の「古池や 蛙飛び込む 水の音」は、「古池」と「蛙」は取り合わされていて、2つの異なるものが俳句に入っている、典型的な取り合わせの句である。
- 8) どうしても思いつかない学生もいるため、方法として、1首は写真などで提題をしてトピックを固めて、全員に同じものを詠ませ、それ以外は自由に作るというのも良いだろう。
- 9) 本文中で説明したこととの繰り返しになるが、この授業は日本語教育の授業ではない。あくまで日本事情科目の中の一環として実施しており、日本語教育のクラスで取り入れる必要があるとは全く想定していない。日本文学や文化体験などのクラスで実施するための参考になればと考えている。
- 10) 参考として、2009年に名古屋の私大の別科で実施した際には、日本語能力が初級後半の留学生でも、手持ちの日本語の語彙力と知識で、五・七・五に納めながら俳句を作成できたことを付記する。

参考文献

- ¹ 川本皓嗣 (1991) 『日本詩歌の伝統-七と五の詩学-』 岩波書店
- ² 金水敏 (2003) 『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』 岩波書店
- ³ 坂野信彦 (1996) 『七五調の謎をとく 日本語リズム原論』 大修館書店
- ⁴ 徳井厚子 (1996) 「留学生に俳句を教える」『信州大学教育学部紀要』90、信州大学
- ⁵ 夏井いつき (2018) 『世界一わかりやすい俳句の授業』 PHP
- ⁶ 松浦友久 (1991) 『リズムの美学-日中詩歌論-』 明治書院
- ⁷ 三浦和尚 (2011) 「俳句の創作教育の在り方」『日本語学』 vol.30-15、明治書院



参考資料

	上五	中七	下五					
2014	人込みで	髪を掠める	夏の風	5	7	5	中国	女
2014	夕焼けに	独りのかりが	飛んでいる	5	7	5	中国	女
2014	もう一度	花見に行った	晩春に	5	7	5	中国	女
2014	散る桜	緑の匂い	もう一回	5	7	5	韓国	女
2014	かきこおり	おいしいこおり	メロンあじ	5	7	5	韓国	女
2014	道端に	黄色い蛇は	小夏かな	5	7	5	フランス	女
2014	草原に	座らないでね	恙虫	5	7	5	韓国	女
2014	新緑の	葉こそいただく	お先にと	5	7	5	台湾	男
2014	こそこそと	ささやかないでね	ぶんぶん蚊	5	8	5	韓国	女
2014	春がきたね	女心のせつなさ	嵐のように	6	11	7	韓国	女
2014	春よ来い	心を揺らせ	溶け込ませ	5	7	5	韓国	女
2014	幸せな	笑顔あふれる	藤の下	5	7	5	韓国	女
2014	ふじのはな	なみだのような	しだれ鬱	5	7	5	ドイツ	男
2014	空を見て	何も言わずに	星の声	5	7	5	オランダ	男
2014	秋の月	涙止まらず	さようなら	5	7	5	アメリカ	女
2015	藤以外	瞳に君も	酔いしれる	5	7	5	中国	女
2015	コーヒーの	まめをかくだけ	幸せだ	5	7	5	中国	女
2015	耳元に	眠れぬ夜の	蚊のうなり	5	7	5		
2015	ふわふわな	余韻を残す	初馬刺し	5	7	5	フランス	男
2015	時間には	我が勝てないと	気付く朝	5	7	5		
2015	暗い部屋	埃まみれ本	松の花	5	8	5	ジョージア	女
2015	春の月	揺籃のとなり	母が泣く	5	7	5	ジョージア	女
2015	来てしまう	就活の時期	逃げたいな	5	7	5	韓国	女
2015	満月夜	川照る桜	泣いている	5	7	5	韓国	男
2015	朝露や	流れる光	何千の目に	5	7	6	オランダ	男
2015	雪ふりや	溶けず日知らず	時間知らぬ	5	7	5	オランダ	男
2015	新学期	久々香る	朝の風	5	7	5	韓国	女
2015	梅雨始め	顔だけ守る	大き傘	5	7	5	フランス	女
2015	花見にて	楽しみに酔う	若い花	5	7	5		
2015	授業ない日	きのみきのまま	海行こう	6	7	5	中国	女
2015	博多春	故郷で見えぬ	花も飽く	5	7	5	中国	女
2015	藤の花	すらりと垂れて	天の川	5	7	5	中国	女
2015	日抱える	果てのない海	青春よ	5	7	5		
2015	地下鉄に	入りて爆睡の	新入者	5	8	5	フランス	男

2016	青い空	風船が飛ぶ	子泣き声	5	7	5	韓国	女
2016	農夫婦	稲らとともに	曲がっている	5	7	6	韓国	女
2016	松蟬の	声に忘れた	暑い初夏	5	7	5	中国	女
2016	ツンとする	山葵のごとき	就活生	5	7	5		
2016	真夜中に	窓を開けたら	セミの音	5	7	5	トルコ	女
2016	ぽかぽかと	服も濡れずに	春の雨	5	7	5	中国	女
2016	チューリップ	優しい風に	そっと揺れる	5	7	6		
2016	窓際に	咲き乱れてる	桜の花	5	7	6	韓国	女
2016	白ブーケ	紅くはにかむ	チューリップ	5	7	5	韓国	男
2016	いらっしゃい	今年も頼む	燕の巣	5	7	5	韓国	男
2016	口の中	カリカリとなり	唐揚げだ	5	7	5	フランス	女
2016	落ちる花	永久の眠りに	来る暮春	5	7	5	オランダ	女
2016	連休は	桜の如き	散ってゆく	5	7	5	韓国	女
2016	六月は	雨がやまない	日々ばかり	5	7	5	トルコ	女
2016	騒がすな	侘しい夜を	野良猫め	5	7	5	中国	女
2016	心地良い	ウグイスの声	春の朝	5	7	5	アメリカ	女
2016	そよそよと	気持ち安らぐ	春の風	5	7	5	韓国	女
2016	見上げたら	いつか軒下	ツバメの巣	5	7	5	中国	女
2017	聞こえない	結晶の雨	雪の音	5	7	5	ドイツ	男
2017	霜降りた	朝心地よい	鳥のさえずり	5	7	7	中国	女
2017	山の中	長いトンネル	冬景色	5	7	5	オランダ	男
2017	秋疲れ	今年が乱れ	明くる年	5	7	5	フランス	男
2017	冬の夜	雪道の上	足の跡	5	7	5	中国	女
2017	君なのか	明るい笑顔	夢の中	5	7	5	中国	女
2017	ぎらぎらと	金色の朝日	夢なのか	5	8	5	中国	女
2017	霜ついた	窓ぎわに座る	風邪ひいた	5	8	5	中国	女
2017	雨止んだ	窓の景色を見る	別れの日	5	9	5	中国	女
2017	息を吐き	電車の窓に	画を書いた	5	7	5	中国	女
2017	麦の湯気	家族の笑顔	思い出す	5	7	5	中国	女
2017	映画鑑賞	ふと寒気立つ	明日バイト	7	7	5	ベトナム	女
2017	雪の中	見えなくなっ	あの姿	5	7	5	香港	男
2017	夏の朝	光の影に	二人きり	5	7	5	フランス	女
2017	贅沢の	暖房つけて	電気代	5	7	5	台湾	女
2017	雪ふわり	ディズニーランド	白い城	5	7	5	台湾	女
2017	乾かした	みかんの皮を	茶に入れる	5	7	5	中国	女
2017	留まらず	匂いでもなし	君の名は	5	7	5	中国	女
2017	山眠る	夢かうつつか	分からない	5	7	5	中国	女

2017	窓眺め	雲より高き	冬紅葉	5	7	5	中国	女
2017	寒い冬	爽やかな雪	お茶を飲む	5	7	5	ドイツ	男
2017	こがらしに	葉擦れわびしく	冬の夜	5	7	5	韓国	女
2017	冬が来た	霰のように	恋も来た	5	7	5	韓国	女
2017	クリスマス	今年も私	一人ぼっち	5	7	6	韓国	女
2017	霜降られ	寒風吹かれ	つらい冬	5	7	5	中国	女
2017	夏の夜	懐かしい歌	あ,うれしい	5	7	5	フランス	男
2017	クリスマス	雪降るのかな	お願い〜	5	7	4	韓国	女
2017	冬空に	金色の蝶	舞い踊る	5	7	5	中国	女
2017	雪の中	春の情けも	なかりけり	5	7	5	韓国	女
2018	紅葉・栗	青春夢の秋	なつかしい	5	9	5	ベトナム	女
2018	薫風に	桃果汁垂らす	我と蟻	5	8	5	中国	女
2018	山の寺	心広げる	青い空	5	7	5	ドイツ	男
2018	氷に聞こえ	すずなり	夏座禅	7	4	5		
2018	真夏に	スイカを食べる	私たち	4	7	5	台湾	女
2018	色づいた	華の着物が	天を覆う	5	7	6	フランス	男
2019	図書館で	頭を上げる	二重虹	5	7	5	中国	女
2019	夏草や	離れたくない	伊都の道	5	7	5	中国	女
2019	うるさいな	ねむいんだけど	セミの声	5	7	5	ドイツ	男
2019	試験終わり	花火見に行く	さびしさ	6	7	4	中国	女
2019	寝顔見る	一晩無休の	扇風機	5	8	5		
2019	手をつなぎ	再開を祈る	初花火	5	8	5		
2019	遅らせたい	晩夏の別れ	一秒でも	6	7	6	オーストラリア	女
2019	夏夜空	打ち上げ花火	散るお金	5	7	5	韓国	男
2019	水無月	我ぞ忘れる	身無月	4	7	4	タイ	女
2019	消えてゆく	秘密をさらす	夏花火	5	7	5	中国	女
2019	蝉時雨	昼寝もできず	夏の日々	5	7	5	中国	女
2019	夕立後	雲に隠され	炎天下	5	7	5	中国	女
2019	雷雲よ	迫る田舎の	さみしさや	5	7	5	オランダ	男
2019	梅雨明けや	幾千の雲	消えて行く	5	7	5	オランダ	男
2019	山の上	雨が止んだよ	午後の虹	5	7	5	ドイツ	男
2019	会いたいと	九千キロでも	伝える手紙	5	8	7	オーストラリア	女
2019	暑き日に	居眠り誘う	友の風	5	7	5	ベトナム	女
2020	晩夏の日	汗を拭かずに	夕立待つ	5	7	6	中国	女
2020	熱風の中	溶けた魂と	かき氷	7	8	5	中国	女
2020	真夏の日	またねというと	さようなら	5	7	5	中国	女
2020	雨でなく	落ちているのは	セミのしこ	5	7	5	中国	男

2020	夏の宵	笑顔を集め	ビールかな	5	7	5	中国	女
2020	摘みて嗅ぐ	薄荷一葉	夏の味	5	7	5	中国	女
2020	君に会う	体温上がり	昼寝後か	5	7	5	フランス	男
2020	夏の朝	日差し眩しい	喉乾く	5	7	5	フランス	男
2020	極暑にて	甘露を祈り	君を待つ	5	7	5	中国	女
2020	夏の朝	眠りを覚ます	セミの声	5	7	5	韓国	女
2020	夕立の音	聞いているだけで	涼しいわ	6	8	5	韓国	女
2020	高千穂よ	心ふれあい	暖かく	5	7	5	台湾	女
2020	微笑んで	星空眺め	顔覗き	5	7	5	台湾	女
2020	夏の味	思い出浮かぶ	とうもろこし	5	7	6	韓国	女
2020	夏の海	熱砂に映す	ふたり影	5	7	5	香港	男
2020	夏の朝	窓を開けたら	熱風が吹く	5	7	7	トルコ	女
2020	旅行中	冷麺すすり	元気出す	5	7	5	ドイツ	女
2020	昼の散歩	日差し耐えつつ	手にうちわ	6	7	5	ドイツ	女
2020	蝉時雨	一瞬で去る	この命	5	7	5	中国	男
2021	夕涼み	夏虫のライブ	ささやき声	5	8	6	中国	女
2021	白昼夢に	誰が笑ったか	風鈴の音	6	8	7	中国	女
2021	君の顔	水無月も無し	電波の虚	5	7	5	中国	男
2021	出会い無き	別れの独り	秋を待つ	5	7	5	中国	男
2021	花火の日	輝く君に	愛しさを	5	7	5	香港	女
2021	雨上がり	虹の彼方に	君がいる	5	7	5	香港	女
2021	鍵の音	微笑む君が	ただいまと	5	7	5	香港	女
2022	スイカ割り	大声で笑う	青春だ	5	8	5	フランス	女
2022	ノルマンディ	テラスにいる猫	最高だ	5	8	5	フランス	女
2022	蝉時雨	昼寝した時	蝶の夢	5	7	5	フランス	女
2022	夏の夜	打ち上げ花火	笑顔咲く	5	7	5	韓国	女
2022	九大の碑	二人で見上げる	夏の星	6	8	5	韓国	女
2022	蝉もなき	風鈴もなり	朋もなし	5	7	5	タイ	男
2022	式週間	梅雨明けとなり	温暖化	5	7	5	タイ	男
2022	皆居ない	JTW	寂寥夏	5	7	5	タイ	男
2022	春風に	涼しく吹かれ	快し	5	7	5	タイ	男
2022	パイナップル	教室の中	分かち合い	5	7	5	中国	男
2022	盛夏には	花火大会	花の夜	5	7	5	中国	男